

海外動向セミナー

KBA

RotaJET 76

2013.03.29

KBAジャパン株式会社

岡田 修

ookada@kba-japan.com

03-5623-3004



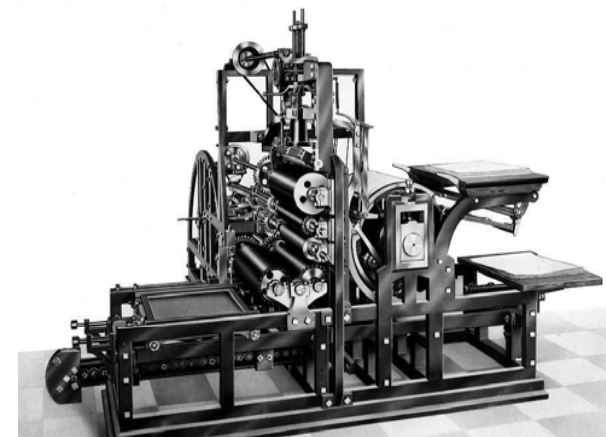
Why KBA?



KBAは世界で初めて印刷機を製造したメーカー



- 1807-1812年: フリードリッヒ・ケーニックがロンドンで世界で初めてシリンダー方式の印刷機を製造
- 1814年 :ロンドンの *The Times*が世界で初めてケーニックの倍胴方式の印刷機で印刷を始めた。
- 1817年 ケーニックとバウアーがドイツ・ビルツブルグ近郊で印刷工場を設立して生産を開始。
- 200年を経てKBAは2012年のドルッパで自社製のインクジェット方式の輪転印刷機 RotaJET76を出展



世界発のシリンダー型印刷機: 1812年

そして200年.....2012年drupa
インクジェット方式の輪転機RotaJET76



- 世界第2位の総合印刷機メーカー

2012年業績

(1EUR=123円計算)

- 売上＝約1,600億円 (対前年10.9%増)
- 営業利益＝56億円 (対前年335%増) ※訂正
- 税前利益＝8億円 (対前年85%増)
- 従業員数約6000名

※枚葉機の受注＝対前年 17.1%増

リーマンショック以後も継続して黒字経営を継続

- 潤沢なキャッシュを背景に継続して高い投資活動
- 枚葉印刷機＝世界第2位
- 大判市場では世界第1位
- パッケージ印刷、紙幣印刷市場ではダントツの第1位。



KBA会社概要- 事業所

従業員約6,000名



フランケンタール
フォルダー等



ヴィルツブルグ
本社・輪転機事業



ラデポイル
枚葉機事業



チェコ/グラフィテック
小型枚葉機事業



トレンフェルト
組立工場



シュツットガルト
金属・缶印刷



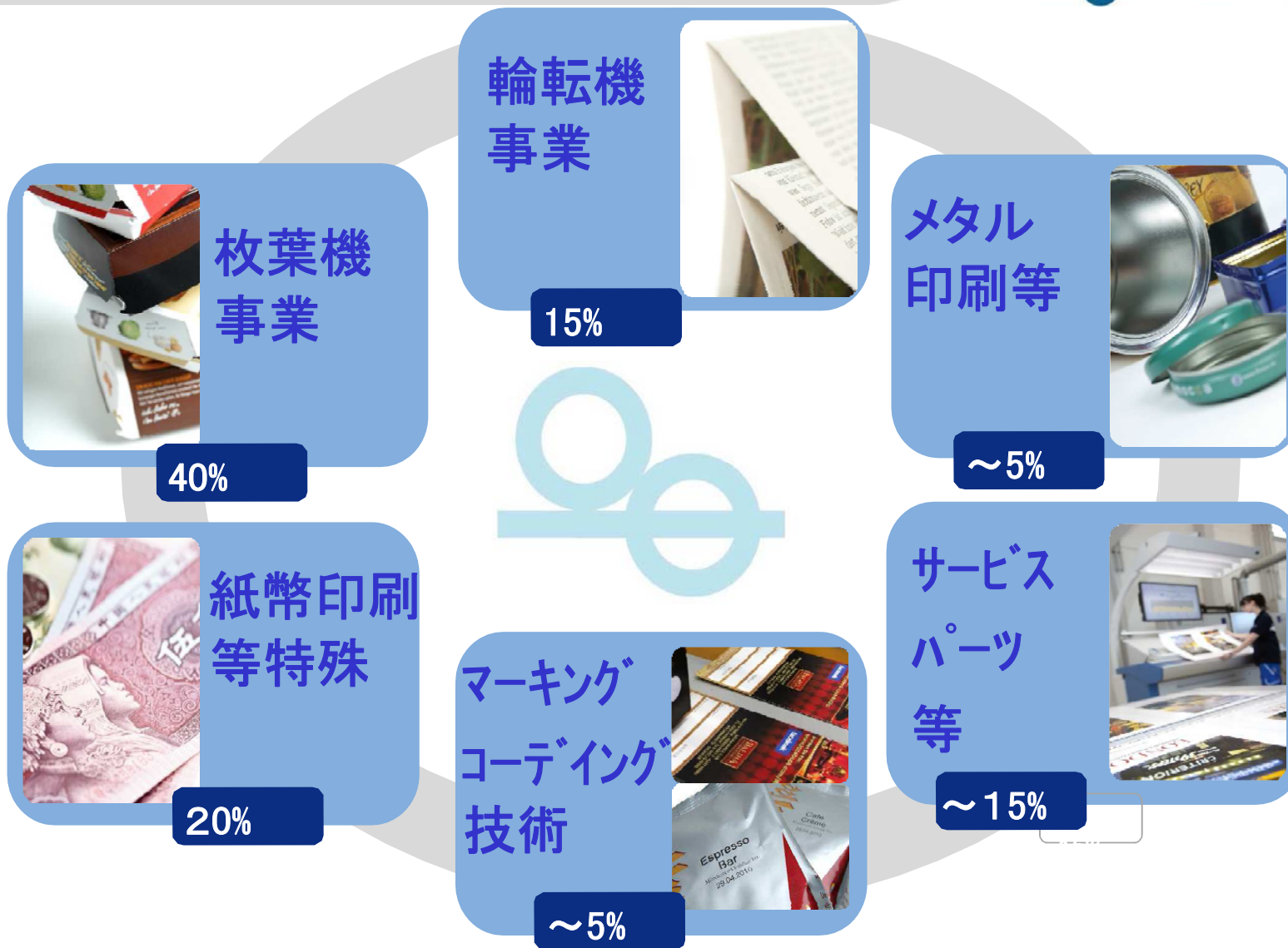
ヴァイトシェフハイム
UV等



オーストリア/KBAメデリング
部品・紙幣印刷



KBA: 売上構成比





ハンセン社長



大野社長

KBA 日本法人立ち上げ 国内1号機納入を発表

【大阪】KBA日本法人が、国内1号機納入を発表した。納入先は、大阪府堺市の印刷会社である。KBAは、この納入を通じて、国内市場での存在感をさらに高め、さらなる成長を目指すとしている。

大野社長は、「国内市場への本格参入は、当社にとって大きなステップであり、今後のさらなる成長に向けた重要な一歩である」とコメントしている。また、ハンセン社長も、「国内市場での成功は、KBAのグローバル戦略にとって重要な要素であり、今後も引き続き努力を重ねていく」と述べた。

環境改善 をします。

- ▶作業現場周辺による環境改善
- ▶居住環境改善の設計施工による環境改善

習和産業株式会社
TEL: 03-5283-8881

この取り組みは、KBAの環境政策の一環として行われており、持続可能な社会の実現に貢献することを目指している。また、この取り組みを通じて、従業員の健康と安全を確保し、生産性の向上を図ることも重要な課題としている。

大成がRapida 1号機導入



ハンセン社長



大野社長

特殊原反用モデル KBAジャパンが販売

大成建設株式会社は、特殊原反用モデルのRapida 1号機を導入した。この機は、従来のモデルと比べて、作業効率を大幅に向上させ、コスト削減を実現する。大成建設は、この機を導入することで、さらなる生産性の向上と、顧客への価値提供を目指すとしている。

大野社長は、「この機を導入することで、作業効率の向上とコスト削減を実現することができ、顧客への価値提供に大きく貢献する」とコメントしている。また、ハンセン社長も、「この機は、KBAの技術力と品質の高さをよく表しており、国内市場での成長に向けた重要な一歩である」と述べた。

大成建設は、この機を導入することで、作業効率の向上とコスト削減を実現することができ、顧客への価値提供に大きく貢献する。また、この機は、KBAの技術力と品質の高さをよく表しており、国内市場での成長に向けた重要な一歩である。

RotaJET76- KBAオリジナルのInkjet技術



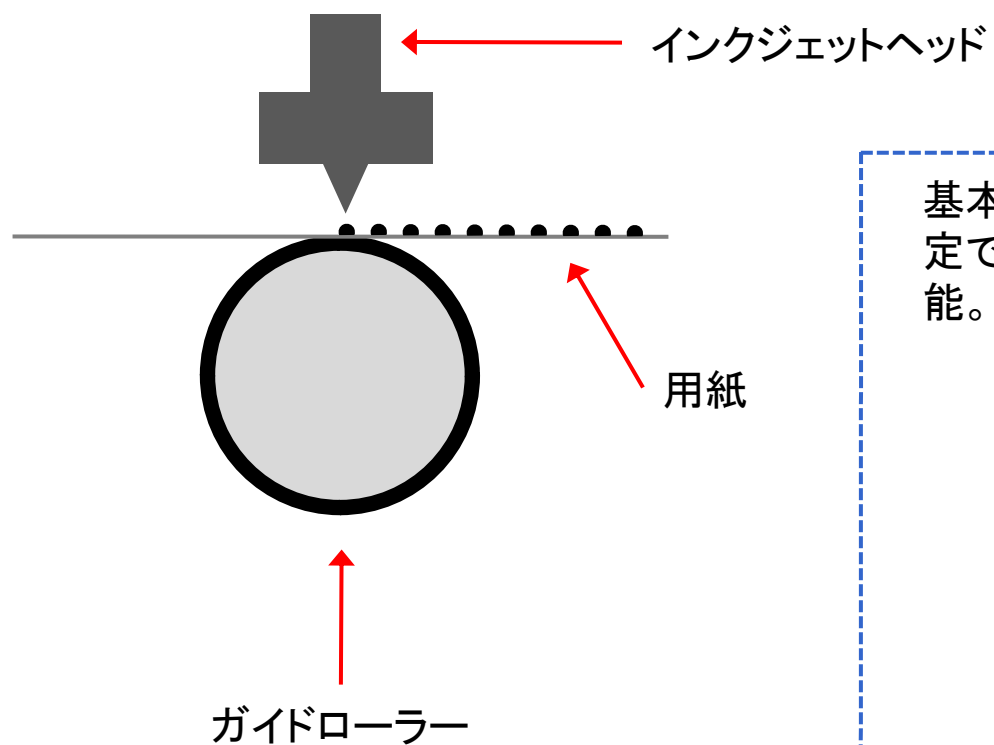
- フレキシブルなショートラン/パーソナリゼーション対応
- 高精度の見当
- 小型で設置面積が小さく設置が容易
- 高度のピエゾインクジェット技術と可変のドロップジェット
- 4色 × A4 → **A4 × 3,000**頁/分の高速出力
- 600dpi解像度
- APPE (Adobe PDF Print Engine)対応ワークフロー



ポリマーベースの顔料インク “RotaColor”

- 毛管効果(紙の中への顔料の浸透力)低減
- 高再現性実現
- 色抜け抑制
- 新しいポリマーベースのインク
- 新しいインクによりプリコートなしで印刷
- 用紙領域を拡張
- 未来はさらなる品質の進歩と原価節約

- InkJet WEB:



基本的にシリンダー長さの制約を受けることなく設定できる。このことによって連続した用紙に印刷可能。このことで事前事後準備時間を大幅削減可能

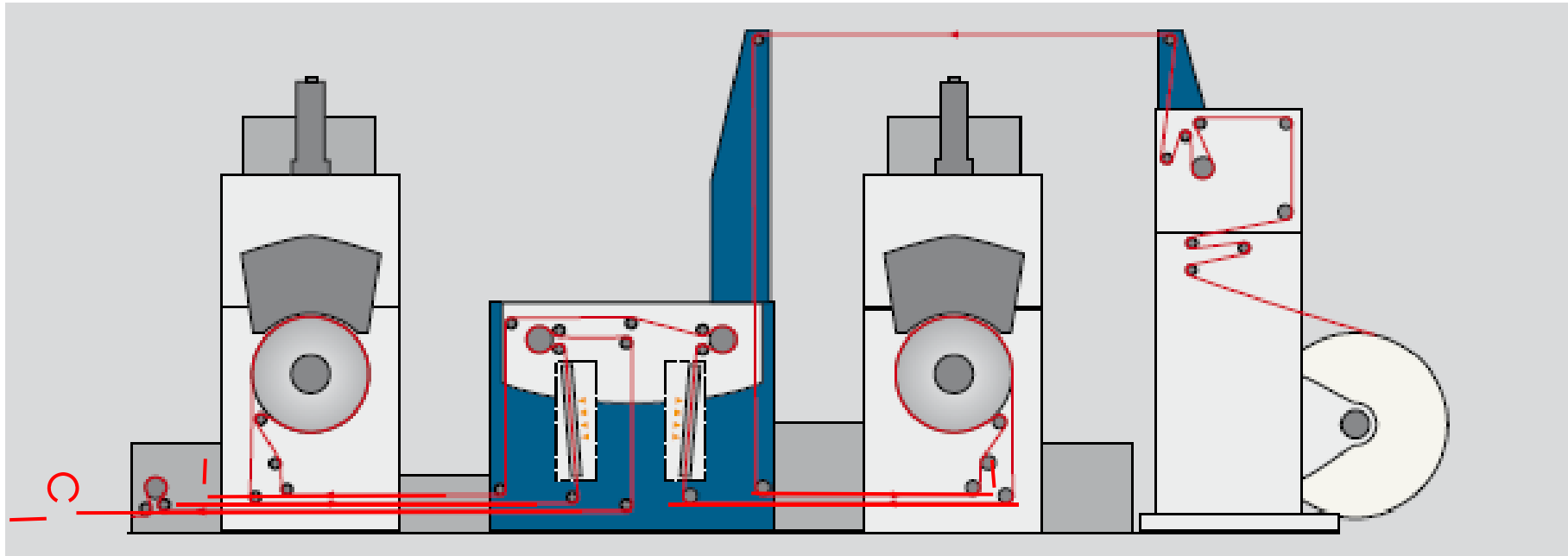
1	2	...	84
1	2	...	84
1	2	...	84
1	2	...	84

従来型オフセット

プリプレス	刷版	印刷	折り	丁合	製本	表紙
<ul style="list-style-type: none"> - 前準備 - プリフライト - 面付 	<ul style="list-style-type: none"> - CTP 	<ul style="list-style-type: none"> - 前準備 - 損紙 - 印刷 	<ul style="list-style-type: none"> - 前準備 - ヤレ - 折り 	<ul style="list-style-type: none"> - 前準備 - ヤレ - 丁合 	<ul style="list-style-type: none"> - 前準備 - ヤレ - 綴じ 	

デジタルインクジェット+デジタル後

プリプレス	印刷	折り	丁合	製本	表紙
<ul style="list-style-type: none"> - 前準備 - プリフライト - 面付 	<ul style="list-style-type: none"> - 前準備 - 損紙 - 印刷 	<ul style="list-style-type: none"> - 前準備 - ヤレ - 折り 	<ul style="list-style-type: none"> - 前準備 - ヤレ - 丁合 	<ul style="list-style-type: none"> - 前準備 - ヤレ - 自由に 	



印刷ユニット2

- ・ RRD開発
- ・ Kyocera KJ4 Head
- ・ Piezo-Drop On Demand Inkjet
- ・ 小型
- ・ Rota Color
- ・ モイスチャライザ
- ・ コーティング

IR ドライヤー

- ・ KBA開発
- ・ 冷却装置

印刷ユニット1

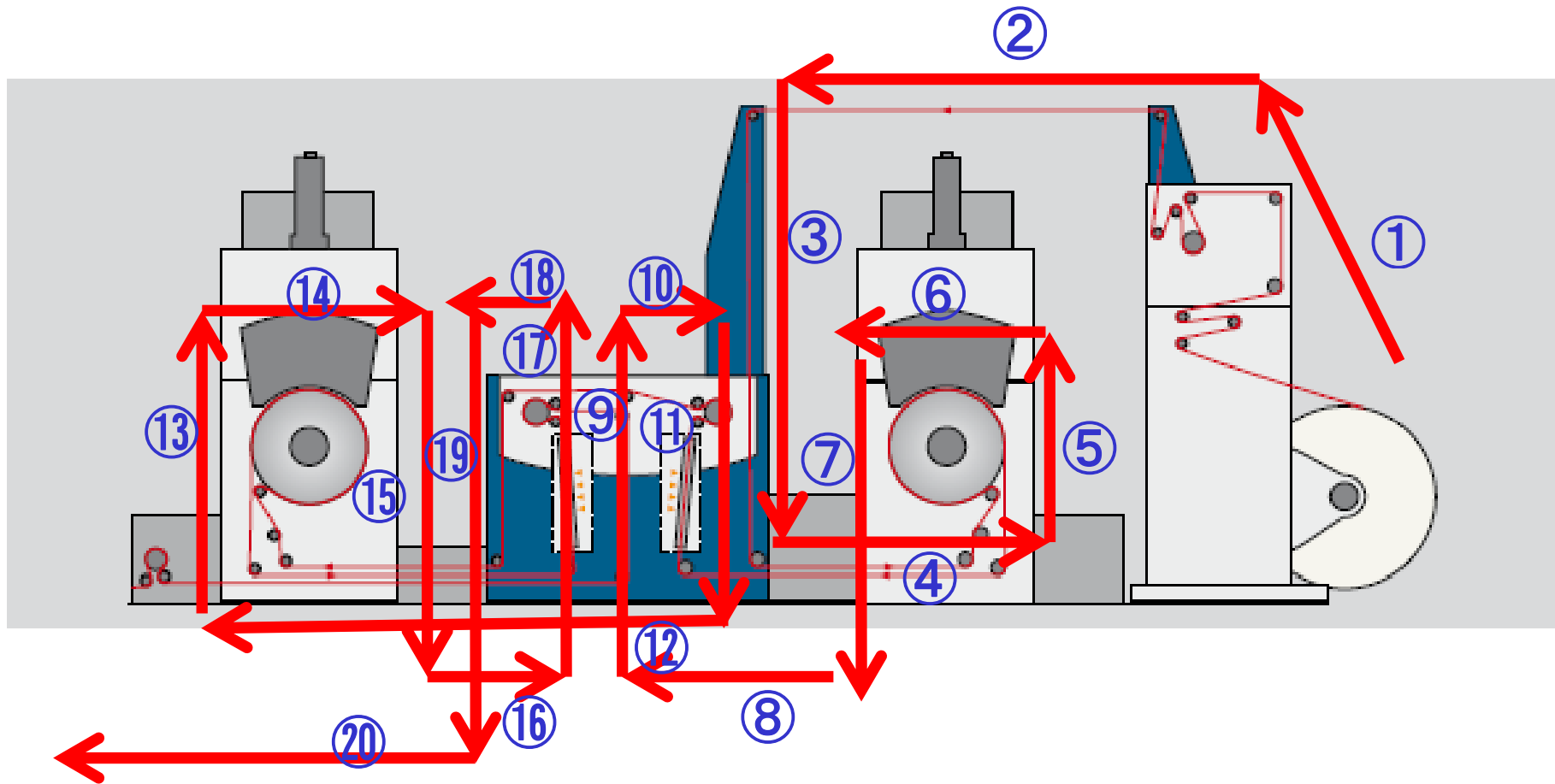
- ・ RRD開発
 - ・ Kyocera KJ4 Head
 - ・ Piezo-Drop On Demand Inkjet
 - ・ 小型
 - ・ Rota Color
- (ポリマーベースの顔料インク)

紙の中への顔料の浸透力を減らし高再現性をもたらし、色抜け抑制

アンワインダー

- ・ KBA 開発
- ・ 堅牢
- ・ 1.300kg 用紙
- ・ 残用紙管理

RotaJET76- 用紙の流れ



- ◆ KBAだから考えました
 - 用紙搬送
 - 用紙をデジタルプレスに取り付け
 - 用紙ロジスティック
 - 残紙管理
 - 自動テンション調整
 - 自動フロント/バック見当調整
 - 自動ロールチェンジ
- ◆ 最新のピエゾインクジェットヘッド
 - 可変のドロップサイズ
- ◆ 全自動ヘッドアライメント
- ◆ インンラインのコーティング
 - 対耗対水
- ◆ KBA製アンワインダー
 - Heavy dutyで省エネ型
- ◆ KBA製ドライヤー
 - 冷却装置
- ◆ Adobe APPE(PDF Print Engine)採用
 - 信頼性が高い
 - JDF対応
- ◆ スケイラブルなRIP/ワークフロー構造

RotaJET76- フィニッシング



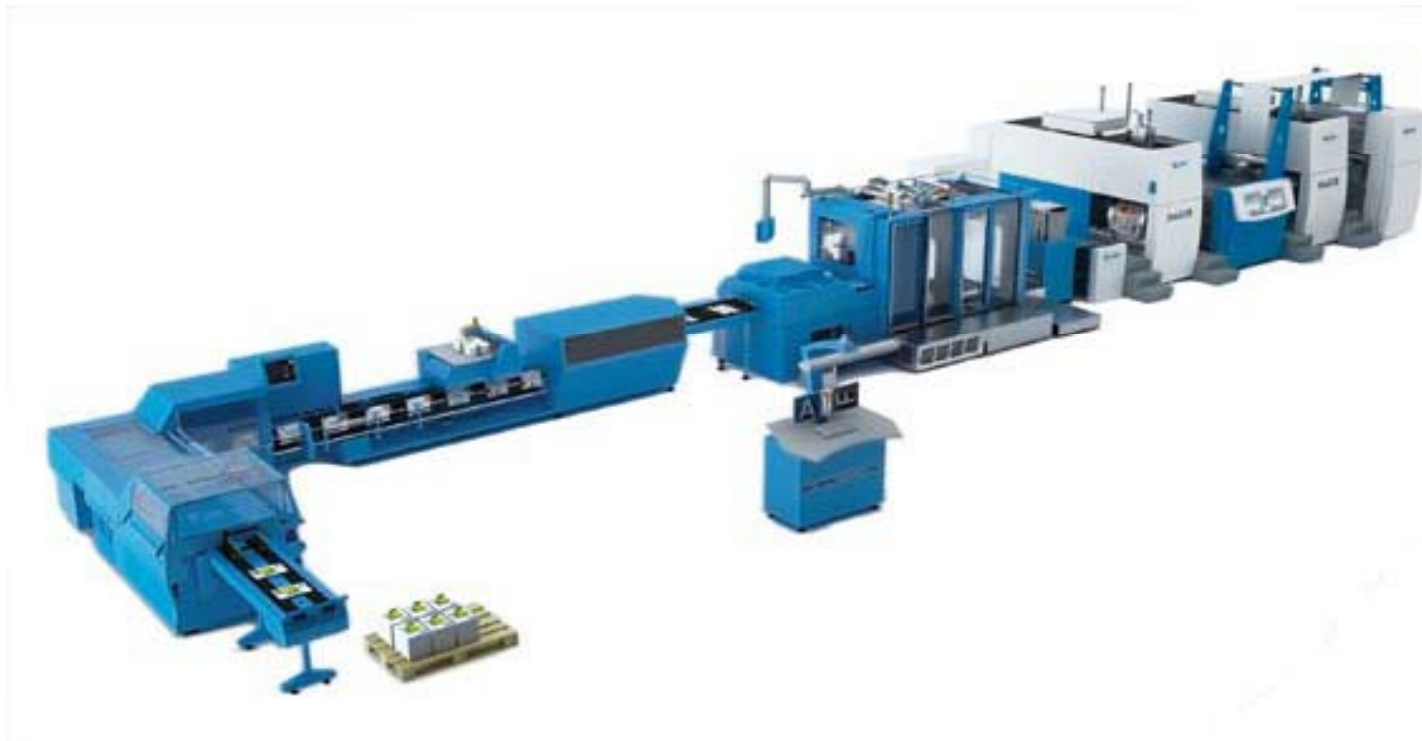
RotaJET76はリール・ツー・リールで生産

JDF対応なので……

折り・丁合・表紙・製本・綴じ・糊付け・

断裁・トリミング……

…等デジタル環境で稼働するフィニッシングをサポート



RotaJET 76 主な仕様



主な仕様	
最大印刷速度:	150mpm (500fpm)
用紙幅:	300 – 781mm (11.8 – 30.74in)
印刷幅:	300 – 781mm (11.8 – 30.74in)
カット長:	可変
印刷可能量(最大):	約3,000 A4 頁/分, 約8500万A4 頁/月
Web lead	
KBA unwinder:	リール直径: 1270mm (50in) 最大 自動巻取り テンション自動調整
Printing heads	
プリントヘッド:	圧電型モジュラー方式ドロップオンデマンドインクジェット印刷ヘッド、全自動調整
解像度:	600 dpi native, quality plus due to 2-bit multi-level, variable droplet sizes
Quantity:	アレー当たり56ヘッド、合計112
Stitching:	automatic alignment of printing heads in array
インクシステム	
	水性顔料系ピグメント
乾燥装置	
	compact, energy-saving infrared dryer combined with the web being blown off with warm air
ワークフロー	
	APPE-based native PDF workflow JDF standard for press line intercommunication and integration of third-party systems (post-press)
設置面積	
長さ/幅/高さ:	9,600mm/3,900mm/3,350mm (standard 4/4, without rewinder or finishing)
重量:	約22,000kg
オプション	
Reel logistics:	
Coating:	
Remoistening:	